



市民と議会をつなぐコミュニケーション機関誌



南城市議会だより

平成29年12月定例会号



タイトル 南城市の夜明け
撮影者 安里一男
撮影場所 南城市老人福祉センター裏

関連 5 議案可決

議案第71号 南部広域行政組合規約の変更について

東部清掃施設組合及び島尻消防、清掃組合（清掃事務のみ）が、平成30年3月31日をもって解散し、南部広域行政組合にその事務を移すことによる南部広域行政組合規約の変更です。

反対討論として、「人口比ごとに議員定数を決めないと住民への説明が出来ないので反対」。
賛成討論として、「新炉建設に伴い、各組合が解散し一旦事務を統合しないと決められない部分があり、今後の話し合いを進めるうえで賛成」との討論があり、賛成多数で可決されました。

この議案に関連して、議案第72号（東部清掃施設組合の解散について）から第73号（東部清掃施設組合の解散に伴う財産処分について）、第74号（島尻消防、清掃組合規約の変更について）及び第75号（島尻消防、清掃組合（清掃のみ）の事務移管に伴う財産処分について）については、全会一致で可決されました。

浸水被害の解消へ

議案第76号 市営百名地区土地改良事業（農業用排水施設）の施行について

百名地区土地改良区は隣接する斜面からの排水がほ場に集中し、特に近年の豪雨により、ほ場内の排水末端である2ヶ所のドリーネの排水能力を超える量が短時間に流れ込むことから農作物の冠水被害やほ場に隣接する住宅の床上浸水等多大な被害が発生しておりました。

暗渠排水路で国道331号を横断し、浸透池を設置して浜川御嶽方向の海へ流す計画で、浸透池は土質がコーラルで、一旦土砂が溜まるが、上水は透明な水でその部分が海に流れることになると思うので被害はないという説明で、全会一致で可決されました。

- ・主要工事 農業用排水施設
- ・事業費 2億4千百万円
- ・期間 平成30年度～平成32年度

排水路整備へ

議案第77号 市営中山地区土地改良事業（農業用排水施設）の施行について

中山地区土地改良区は集落や国道及び原野等の傾斜地からの雨水等が大雨のたびに流入し農作物等の冠水被害を解消するための農地工作条件改善事業で、海への4本の排水路・沈砂池を新設する事業で、全会一致で可決されました。

- ・主要工事 農業用排水施設 一式
- ・事業費 5億9千百万円
- ・期間 平成30年度～平成33年度

議案ピックアップ

県知事に答申

議案第62号 中城湾港仲伊保地区公有水面埋立について

中城湾港仲伊保地区の船揚場整備事業に伴う公有水面埋立免許の出願にかかる意見について、沖縄県知事に対し異議の無い旨、答申したいので公有水面埋立法の規定により議会の議決を得る必要があり提出されたものです。

地元漁民の方々から、船揚げ等で支障が出ているなど長年要請をして開始される事業であり、仲伊保港の区域内で工事の施行方法等にも疑義はなく審議の結果、全会一致で可決されました。

新庁舎備品売買契約

議案第63～66号 南城市新庁舎備品（A.B.C.E）売買契約について

新庁舎、備品売買契約についての議案です。5分割で発注したのは、地元業者の受注機会を増やす目的で、分け方についてはデスク、チェア、キャビネット等カテゴリ一別で行いました。結果的に、地元業者が落札したのは4件中0件だったことから、委員会において、指名競争入札の公平性、透明性は確保しつつも、指名業者選定やグループ分けなど、もう少し工夫する余地はあるのではないかなどの意見も出ました。

※Dについては、市内玉城にある新垣事務機と売買契約を締結。
(2千万以下の契約のため条例により議決不要)

	契約業者名	本社所在地	契約金額(円)
A	㈱事務機文明堂	那覇市	53,881,200
B	㈱加島事務機	浦添市	54,540,000
C	㈱オキジム	浦添市	67,716,000
E	㈱エマオ	那覇市	65,664,000
計			241,801,200

業者決定

議案第67号 大里北小学校校舎改築工事（建築1工区）請負契約について

議案第68号 大里北小学校校舎改築工事（建築2工区）請負契約について

議案第69号 大里北小学校校舎改築工事（電気）請負契約について

建築・電気工事に関する3件の請負契約についての議案です。

指名競争入札の結果、工事請負会社建築1工区（3社による共同企業体）、建築2工区（3社による共同企業体）、電気（2社による共同企業体）が決まり、全会一致で可決されました。委員会では、今後のスケジュールや開校時期（H31年4月）を再確認し、安全に工事を進めて頂きたい等の意見がありました。

平成29年度 補正予算の概要

会計名称	補正額	補正後予算額	議案番号
一般会計	1億5,055万円	275億4,887万円	94
国民健康保険事業特別会計	648万円	77億8,831万円	95
後期高齢者医療特別会計	補正なし	3億6,721万7千円	—
下水道事業特別会計	508万3千円	8億6,909万7千円	96
水道事業会計	収益的収入 788万円	11億1,508万6千円	97
	収益的支出 △48万8千円	10億7,627万3千円	
	資本的収入 補正なし	100万7千円	
	資本的支出 補正なし	1億6,756万3千円	

議案第94号 南城市一般会計補正予算（第4号）

（総務・企画部関連）

- 久高緊急ヘリ着陸用照明設備工事 約501万円
これまで久高島での夜間の緊急搬送は車のヘッドライトにて離発着をしていましたが安心・安全を図る為に照明設備を設置するための工事費です。

（市民・福祉部関連）

- 障害児通所支援給付事業 約1,522万円
放課後デイサービス等の利用実績が増えたことに伴う増額と近隣にサービス事業者が増えたことによる給付費の増額補正です。
- 法人保育園運営費 約7,044万円
保育士の処遇改善を図るため保育士給与等を中心とした給付額を増加するための増額補正です。

（農林水産関連）

- 災害に強い栽培施設整備事業 5,935万円 県一括交付金事業（10/10）
南城市においてきゅうりの収穫量は約200tの生産があり、担い手の生産意欲も高く今後主要作物として期待されます。しかし露地栽培では、安定供給に大きな課題を抱えています。これらの課題解決のため、強風等天候不良に対応する施設を整備し、農作物の安定供給に努める必要があります。
平成29年度実施予定者5名の事業費確保と早期事業着手が見込める為、今回補正計上されました。
- 機構集積協力金 110万円 機構集積協力金交付事業（10/10）
農業の構造改革を推進するため、農地利用の集積・集約化を行う農地中間管理機構による、遊休農地解消措置の改善、青年等の就農促進策の強化、農業法人に対する投資の円滑化等を講じることを目的としている事業への協力金で、当初3件（仲伊保1件、富祖崎1件、中山1件）を予定していたが、該当案件が3件（仲伊保2件、百名1件）増えたため、増額の補正が提案されました。

（土木建築関連）

- 減額補正 △約16,659万円
道路建設関係事業9件において、工事費・公有財産購入費・物件補償費の補助金決定通知を受け、工事請負費と公有財産購入費の組み替えを行ったのち総額としての減額補正を行う提案されました。

（教育関連）

- 備品購入費（小中学校電子黒板等整備事業） 約1,944万円
校内LAN整備実績により委託料が減額されたことにより、全小学校4年生の普通教室、特別支援教室の一部へ電子黒板を前倒しで導入するための、備品購入費が追加計上されました。

出張所閉所

議案第82号 南城市出張所設置条例を廃止する条例について

南城市役所佐敷出張所及び知念出張所を閉所するため、南城市出張所条例を廃止する内容の議案です。

委員会及び本会議において賛成・反対討論がありました。
反対討論として、住民の合意形成が十分でなく、新庁舎完成の遅れが予測され交通体系が定まっていない中で時期尚早であるとの討論がありました。

賛成討論として、広報誌や自治会だより窓口の残歴版設置などで市民への周知を図り、新庁舎が出来るまで庁舎間巡回バスを運行し、今後もコンビニ交付を推進し、新庁舎まで利用者に応じた交通体系を構築していく内容を確認できたとの討論がありました。

以上の討論の結果、賛成多数で原案可決となりました。

基金創設

議案第89号 南城市学校教育施設整備基金条例について

旧玉城給食センターを有償で貸し出すにあたり、文科省の財産処分の規則により、国庫補助事業完了後10年以上経過した施設を有償で貸し出す場合、残りの補助金分を基金として積み立て、教育施設整備に使うようにと明記されており、当建物は築21年で該当する為、残り14年分（1,849万8,000円）の補助金を、基金として積み立てるための条例です。

指定管理者決定

議案第91・92号 指定管理者の指定について

指定管理者の指定期間満了に伴い、新たな指定管理者と期間を定めました。

下記4施設について引き続き、社会福祉法人南城市社会福祉協議会が管理者として指定されました。

議案第91号の3施設については、当該施設建物の老朽化もあり、今後統廃合を含めて検討していくため、これまで5年間の指定期間が今回は2年間となっています。

議案名	指定する施設名称	指定期間
91号	南城市老人福祉センター	平成30年4月1日から平成32年3月31日
	南城市福祉センター	
	南城市総合保健福祉センター	
92号	南城市地域活動支援センター	平成30年4月1日から平成35年3月31日

代表質問 質 & 答

代表質問について

12月定例会は、各会派より代表質問が行われます。



日本共産党・革新共同の会

質問者 松田 兼弘
まつだ けんひろ

質 市長の政治姿勢について

(1) ヤンバルの森は、県民・南城市民の水がめです。辺野古に新基地を造ることは、200年も訓練、事故におびえることになる。到底受け入れられない。
欠陥機オスプレイ墜落、米兵による事件、事故が後をたちません。水がめを守る、市民の生命、財産を守るのは行政のトップの第一の仕事。今こそ、建白書の立場に立ち返るべきです。
(2) 保育所民営化をはじめ行政がすすめる施策に対し、行政と異なった市民の意見や意識の共有が不足していると少なくない市民が危惧しております。認識を伺う。

答 幾度となく国へ要請 市民の情報共有に努める

■企画部長 知念 哲雄
米軍人・軍属等による事件などの対策について国へ要請する。

■福祉部長 仲里 康治
市の広報誌で周知し、情報共有に努めます。

質 子育て施策について

(1) 子どもの貧困対策について
(2) 義務教育費の無償化について
(3) 医療費の助成の年齢引き上げを求める。

子育て施策は南城市のまちづくりの中心であり、未来への投資であります。現状と課題を伺う。

答 貧困の連鎖をなくする 国・県の動向を注視

■福祉部長 仲里 康治
(1) 国・県の補助金を活用し児童相談員2名。子供支援員2名。中学校区ごとに貧困支援員4名を配置し貧困支援をおこなっています。
(2) 医療費助成年齢引き上げは財源状況も踏まえ段階的に検討。
(3) 政府は、大学など高等教育の無償化について検討しており国・県の動向注視したい。

※農業振興、水産振興、商工業振興については紙面の都合上省略。

ゆまぢり会

質問者 上地 寿賀子
うまち すがこ

質 三世代同居・近居の促進について

平成22年南城市都市計画が策定後人口約3千500人増となっており、今後も若年層の定住が不可欠であります。三世代同居や近居の促進策として住宅の新築や改築にかかる費用負担の制度創設や実施時期について伺う。

答 制度創設し、H30年4月 実施を目指す

■企画部長 知念 哲雄
三世代家族の形成と子育て支援を促進し、三世代同居支援制度として住宅の新築や改築費用の一部負担を検討している。H30年4月からの実施を目指す。

質 道路網整備について

新庁舎周辺が中核地となっていくことから、更なる道路整備計画が必要ですが、次について伺う。
① 大里地域から新庁舎へのアクセスが不便ですが、新たな道路整備について。

② 大里北小学校区の通学路について市民から道路整備を望む声が寄せられておりますが、子ども達の安心安全な通学路整備について。

答 大里地域の道路整備は必要

■土木建築部長 森山 紹司
① 大里地域から新庁舎へは道路整備が必要と考えており、中長期道路整備として計画している。
② 新たな路線として県道77号線から大里北小学校への通学路として、南城市道路網整備計画として県と調整中。

質 第2次南城市総合計画 について

本市の施策でも重要な第1次南城市総合計画の総括、評価(PDCA)及び第2次南城市総合計画の目指す将来ビジョンについて。

答 将来像はムラヤーを 中心とする方針

■企画部長 知念 哲雄
合併後人口が約3千500人増加。第1次南城市総合計画に基づき都市計画の変更や施策によって得られたものであると考える。第2次南城市総合計画の将来像はムラヤーを中心とした基本方針を考えている。

質 防災・減災対策について

清風会

質問者 前里 輝明
まえざと てるあき

平成7年1月17日、阪神・淡路大震災、平成23年3月11日、東日本大震災、平成28年4月14日、熊本地震は災害の恐ろしさを痛感させるとともに、自助・共助・公助の重要性など多くの教訓を残してきました。南城市においても、台風や豪雨など様々な災害が発生しております。日頃から災害に備える防災と、災害時の被害を少しでも減らす減災について伺います。
① 市内自主防災組織の結成数と結成率
② これまで市内における防災訓練回数と訓練内容
③ 災害時の連絡体制、各組織、消防や自衛隊、地域、民間業者等の連携の体制
④ 今後の防災・減災対策

答 防災意識の高揚を 図ります

■総務部長 玉城 勉
① 市内70自治会中9自治会で、結



成率は12・8％
② 庁舎内での防災訓練については年1回、地震を想定した訓練を実施、自主防災組織のある自治会において、それぞれ概ね年1回程度、区民を対象に津波や地震が発生した場合の訓練を実施しています
③ 現在は電話や放送機器を通して連絡や情報伝達を行っております
④ 現在建設中の新庁舎は防災拠点施設、そして隣接する公共駐車場は復興拠点として市民の避難所機能を有し防災・減災対策の柱としております。現在整備中の次期防災システムも防災直後の情報収集、情報伝達、集中管理機能が備わったシステムで迅速な行政対応で防災・減災対策の一環としております。次年度は市民を対象に大がかりな防災訓練を実施し、市民への防災意識の高揚を図ってまいりたいと考えております



ひが なおき
比嘉 直明

質 大里・真境名集落市道整備について

公民館前面の半周道路が幹線となり、区民の生活上必要不可欠な道路ですが、集落から稲福・南風原線に出入りする〇ー90みーはぎ線、又は〇ー38長堂線が交差する付近は道路勾配が厳しく、災害や緊急時に著しく支障となつてゐるため改善を求めます。

答 改修可能なのか検討

■土木建築部長 森山 紹司

現場を確認したところ、出入り口付近は道路勾配があり幅員が狭い上、路上駐車があると災害や緊急時、大型車両等の通行に厳しいと考えております。

稲福・南風原線の取り付け箇所で改修可能かどうか検討します。

質 市内の道路総点検を

一般質問に取り上げた理由は、集落の中心部で自動車が家屋へ突つ

込んだ事故が発生してしまいました。その際、島尻消防本部が所有する救助工作車が出動したが、道路勾配が厳しく現場へ到着出来なかった事が問題なのです。

道路管理を行っている本市の責任で改善する必要がある、更に、勾配のきつい市道については、消防本部と連携して総点検を行っていただきたい。

又、家屋より樹木がはみ出している箇所については、市民へ伐採するよう周知していただき、災害や緊急時の重要性を認識させていただきたい。



ひらた やすのり
平田 安則

質 ごみ減量化取組みについて

以下について、お伺いします。

- ①昨年度のごみ処理費
- ②昨年度の可燃ごみ・不燃ごみ・粗大ごみの排出量
- ③焼却残渣最終処分量
- ④ごみ減量化への取組みとその成果
- ⑤焼却施設二元化にむけた取組み現状
- ⑥中部民間処理業者の許可取消しの影響

答 ごみは増加傾向です

■市民部長 城間 みゆき

- ①処理費は約1億7千万円です。
- ②増加傾向で可燃ごみ9243t、不燃ごみ238t、粗大ごみ166tです。
- ③最終処分量は1229tです
- ④生ごみ処理機等の購入助成をしています。ごみ減量には至っていません。
- ⑤南部の3清掃組合の組織統合に向けて取り組んでいます。
- ⑥当市への影響はありません。

質 市長の実績と今後の市政運営について

以下について伺います。
①約3500名余の人口増加の要因について

- ②過去5年の地域毎の投資総額
- ③人口減少地域に力を注ぐべきと思うが、どのような政策を考えているか。

答 三世代同居支援制度を創設

■企画部長 知念 哲雄

- ①都市計画策定やインターネット利用環境向上が大きな要因です。
- ②過去五年間の投資総額は、佐敷地区約42億円、知念地区約26億円、玉城地区約32億円、大里地区約29億円です。
- ③三世代同居支援制度の創設を進めています。

質 財政計画について

沖縄振興特別措置法が2021年末に切れます。高率補助特例の継続できない場合、市財政計画に影響が出るか、同法延長に向けた取組みについて伺う。

答 継続させるよう要請

■総務部長 玉城 勉

高率補助特例が廃止された場合、補助額が約36%の減になります。道路、農業基盤、下水道整備等の進捗に影響が出ます。

■市長 古謝 景春

アジア圏への日本の玄関口としてのポテンシャルを活かすため高率補助、広域的事業について継続させるよう要請します。

他水路改修も質問しました。詳細は議会HPをご覧ください。



なかま みつえ
仲間 光枝

質 図書館を核とした政策について

読書を通した人づくりまちづくりを今後の政策の一つとして取り入れることを提案します。市民福祉の点においても重要な場所になり得る中央図書館の必要性について、市民との議論の機会をつくって下さい。

答 公共施設再編と合わせて検討していく

■教育部長 當眞 隆夫

本市では、市内4ヶ所の公立図書館、家庭、子育て支援団体が連携して子どもの読書活動を推進し、読書による人づくりを目指している。中央図書館の必要性の有無についても議論し検討していきたい。

■副市長 具志堅 兼栄

サンダルを履いて普段着で通える図書館を目標にしているのが、4地区の図書館を充実させるのが先決だと思っている。

■市長 古謝 景春

4地区に図書館をつくったのは、あまりにも交通の便が悪く、中央図書館には行けないというのが一



まつだ けんりょう
松田 兼弘

質 兼久区の水害防止対策について

- (1)佐敷中学校周辺の冠水、浸水防止対策について
- (2)本市の対策と県への要請等平成28年9月定例会の一般質問をうけての進捗を伺う。

答 雨水排水事業県と調整中

■土木建築部長 森山 紹司

(1)雨水排水事業に向け県と調整中、幹線ルート調整及び雨水排水計画を行っています。

(2)平成28年9月13日、兼久自治会長、玉城武光県議、県海岸防災課、南部土木維持管理班、南城市田園整備課、都市建設課で現場確認を行っています。海岸の陸地化が進行し排水吐口機能低下と排水断面の確保が必要です。事業に向け県と調整中です。

質 スポーツ・レク施設の整備について

(1)富祖崎公園の整備について

つの要因。ネット環境整備含めて検討していく。

■教育長 山城 馨
読書活動をより一層推進するため、先進事例も参考にしながら勉強していきたい。今後も、4地域の特性を生かした図書館サービスの充実に努めていく。

質 県指定天然記念物ハマジンチョウ群落の維持管理について

現状は荒れ放題。人が訪れて気持ちの良い場所ではなくなっています。このまま放置すれば絶滅する可能性も否定できないので、2点提案します。

- ①指定管理者制度導入
- ②南城市歴史文化観光資源整備基金の活用

答 保護する責務があると認識している

■教育部長 當眞 隆夫

指定管理者制度は公の施設を対象にしており、特定の植物群落は対象外である。沖縄県と調整しながら、基金も活用して整備していく。

■教育長 山城 馨

貴重なハマジンチョウ群落、子ども達の学習教材としても役立つように努めていく。

■市長 古謝 景春
今後、老朽化した護岸整備等を含め整備することも考えている。

- ①野球場の整備を求める。
- ②トイレの整備を求める。
- (2)さしきスポーツレクセンターの整備について
- ①アリーナの漏水対策
- ②電球の取り替え
- ③券売機の修理
- ④トレーニングマシンの取り替えを求める。
- (3)新開多目的広場の整備について
- ①水銀灯の取り替を求める。
- ②フェンスの取り替を求める。
- (4)佐敷老人福祉センター周辺整備について
- ①広場芝生等の整備
- ②トイレ改修
- ③駐車場周辺の水没対策を求める。

答 富祖崎公園の統廃合を検討

■教育部長 當眞 隆夫

陸上競技場は合併によりその役割を終えており野球場を含め富祖崎公園の統廃合を検討する。

中央の屋外トイレは修繕費が多額のため解体する。

■副市長 具志堅 兼栄

統廃合すべき施設は統廃合を進めていく方針です。

※(3)(4)の当局答弁は紙面の都合で省略

④今年度からは視察に派遣する教職員は、来年人事異動の予定がない教職員を選定して改善を図っている

③来年度は視察を一旦中断し西留安雄先生を招聴し直接指導を受ける等学力向上実践につなげた

②新学習指導要領では主体的・対話的で学習過程の改善の重要性が謳われているが、越知町は既に教師が教えるスタイルから子供が主体的に学ぶ授業を実践している。また共通した学び方や学習過程を校内で実施しており、それらの重要性を視察で学んだ

①学習規律の徹底や授業改善、また教師の授業力が高まり学力向上につながつた

■教育部長 當眞 隆夫

質 学力向上対策について

児童生徒の学力向上を目的とした「先進地視察研修」について以下に伺う。

①これまでの総括

②高知県越知町での成果

③今後の考え方

④派遣した先生の人事について

答 詳細は次のとおり



中村 なおや

②歩行者の安全・安心確保の為に県南部土木事務所へ改修要請をする

①白線を引き直し改善する

■土木建築部長 森山 紹司



質 地域課題について以下に伺う。

①市道系数々屋嘉部上原線と市道山川喜良原線が交差する地点で事故が発生する状況があるが改良できないか

②仲間交差点付近の歩道の集水枡の段差が歩行者の安全を阻害しているが改善できないか

答 早急に改善する

質 防犯カメラについて

子供達を取り巻く劣悪な犯罪が増えている事から防犯カメラの設置を積極的に進めてほしい。初期投資と維持費をゼロにする為、自動販売機併設型の防犯カメラを設置する自治体もあるが所見を伺う。

答 検討する

質 防犯カメラについて

子供達を取り巻く劣悪な犯罪が増えている事から防犯カメラの設置を積極的に進めてほしい。初期投資と維持費をゼロにする為、自動販売機併設型の防犯カメラを設置する自治体もあるが所見を伺う。

答 検討する



国吉 まさみ

質 執行状況は順調。今後も全力投球！

■企画部長 知念 哲雄

「創生戦略」の基本目標Ⅱ・Ⅲ

質 少子高齢・人口減少に備え着実な政策実現を！

移住希望者の背中を押すのは、子育て環境を含めた教育・福祉分野の政策である。

基本目標Ⅱの分野25事業のうち「海外留学の負担軽減支援事業」と「国際バカローラ認定校の誘致」は、市民にとってもワクワク感がある。特に「認定校の誘致」は、市民の「南城市に高校を！」との願いに合致するもので活性化に繋がる。

次に基本目標Ⅲは、「移住・定住の促進」「コミュニティ基盤強化」「子育て支援」最も大事な分野である。まさに「日本一元気で魅力ある南城市」建設の柱である。「市の創生戦略」の進捗状況と決意を伺う。

答 執行状況は順調。今後も全力投球！

質 少子高齢・人口減少に備え着実な政策実現を！

移住希望者の背中を押すのは、子育て環境を含めた教育・福祉分野の政策である。

基本目標Ⅱの分野25事業のうち「海外留学の負担軽減支援事業」と「国際バカローラ認定校の誘致」は、市民にとってもワクワク感がある。特に「認定校の誘致」は、市民の「南城市に高校を！」との願いに合致するもので活性化に繋がる。

次に基本目標Ⅲは、「移住・定住の促進」「コミュニティ基盤強化」「子育て支援」最も大事な分野である。まさに「日本一元気で魅力ある南城市」建設の柱である。「市の創生戦略」の進捗状況と決意を伺う。

答 執行状況は順調。今後も全力投球！

質 湧根国地域の鍋底原の集落道の整備について

積年の懸案事項です。

色んな経緯があったと思うが、平行線のままでは何の解決にもならない。対応を伺う。

答 年次計画を作り対応する

質 湧根国地域の鍋底原の集落道の整備について

積年の懸案事項です。

色んな経緯があったと思うが、平行線のままでは何の解決にもならない。対応を伺う。

答 年次計画を作り対応する

質 湧根国地域の鍋底原の集落道の整備について

積年の懸案事項です。

色んな経緯があったと思うが、平行線のままでは何の解決にもならない。対応を伺う。

答 年次計画を作り対応する

質 湧根国地域の鍋底原の集落道の整備について

積年の懸案事項です。

色んな経緯があったと思うが、平行線のままでは何の解決にもならない。対応を伺う。

答 年次計画を作り対応する

質 湧根国地域の鍋底原の集落道の整備について

積年の懸案事項です。

色んな経緯があったと思うが、平行線のままでは何の解決にもならない。対応を伺う。

答 年次計画を作り対応する

①29年度より工事に着手しており、完了は平成31年度を予定しています。

②移転に伴い交通量の変化により危険と判断された場合、関係機関と調整し整備していきたいと考えている。

答 対応、検討していく

質 大里北小学校移転について

移転に関連し以下の点について伺います

①市道嶺井土改一号線の進捗状況について

②島袋区児童の通学路として、利用が増えると思われる市道前原線の整備について

③移転敷地に隣接する、農道土改16号線の安全対策について

④跡地利用に関しては、地元の代表もメンバーに選定し、(仮)跡地利用審議会となるものを発足して頂けないか

質 子どもの予防接種について

これまでも何度か取り上げてきた、インフルエンザ等、任意接種への一部助成については、子育て世代への応援、医療費の抑制、そして何よりも未来への投資になると考えますが、あらためて担当部署の所見を伺う。

答 前向きに検討していく



新里 たかし

質 子どもの予防接種について

これまでも何度か取り上げてきた、インフルエンザ等、任意接種への一部助成については、子育て世代への応援、医療費の抑制、そして何よりも未来への投資になると考えますが、あらためて担当部署の所見を伺う。

答 前向きに検討していく

質 子どもの予防接種について

これまでも何度か取り上げてきた、インフルエンザ等、任意接種への一部助成については、子育て世代への応援、医療費の抑制、そして何よりも未来への投資になると考えますが、あらためて担当部署の所見を伺う。

答 前向きに検討していく

質 子どもの予防接種について

これまでも何度か取り上げてきた、インフルエンザ等、任意接種への一部助成については、子育て世代への応援、医療費の抑制、そして何よりも未来への投資になると考えますが、あらためて担当部署の所見を伺う。

答 前向きに検討していく

質 子どもの予防接種について

これまでも何度か取り上げてきた、インフルエンザ等、任意接種への一部助成については、子育て世代への応援、医療費の抑制、そして何よりも未来への投資になると考えますが、あらためて担当部署の所見を伺う。

答 前向きに検討していく

質 田園空間整備事業について

本事業は合併以前の玉城村と知念村が島尻東地区として指定され、沖縄県で最初に導入された事業ですが合併後も継続されているか完了したのか伺う。

本市においては田園空間の整備は今後も継続すべきと思う。以前にも下田原一帯の農地改良について取り上げました。その後の取り組みについても伺う。

答 話合いは継続している

質 田園空間整備事業について

本事業は合併以前の玉城村と知念村が島尻東地区として指定され、沖縄県で最初に導入された事業ですが合併後も継続されているか完了したのか伺う。

本市においては田園空間の整備は今後も継続すべきと思う。以前にも下田原一帯の農地改良について取り上げました。その後の取り組みについても伺う。

答 話合いは継続している

質 田園空間整備事業について

本事業は合併以前の玉城村と知念村が島尻東地区として指定され、沖縄県で最初に導入された事業ですが合併後も継続されているか完了したのか伺う。

本市においては田園空間の整備は今後も継続すべきと思う。以前にも下田原一帯の農地改良について取り上げました。その後の取り組みについても伺う。

答 話合いは継続している



おやかわけ たかお

質 地域課題について

①吉富ニライカナイ橋近くの水道管布設

②安座真農道8号線、市道18号線の段差や亀裂

③市道知念8号線(志喜屋)の閉鎖要因と開通見通し

④海野公民館山手の土砂崩れ対策

答 詳細は次のとおり

質 地域課題について

①吉富ニライカナイ橋近くの水道管布設

②安座真農道8号線、市道18号線の段差や亀裂

③市道知念8号線(志喜屋)の閉鎖要因と開通見通し

④海野公民館山手の土砂崩れ対策

答 詳細は次のとおり

質 地域課題について

①吉富ニライカナイ橋近くの水道管布設

②安座真農道8号線、市道18号線の段差や亀裂

③市道知念8号線(志喜屋)の閉鎖要因と開通見通し

④海野公民館山手の土砂崩れ対策

答 詳細は次のとおり

質 地域課題について

①吉富ニライカナイ橋近くの水道管布設

②安座真農道8号線、市道18号線の段差や亀裂

③市道知念8号線(志喜屋)の閉鎖要因と開通見通し

④海野公民館山手の土砂崩れ対策

答 詳細は次のとおり



前里 てるあき
まえざと 輝明

質 尚巴志ハーフマラソンについて

第16回尚巴志ハーフマラソンが開催され多くのランナーが出席し、参加者は県内外、国外の方々が南城市に訪れています。スポーツイベントの観点ではなく観光振興や体験滞在交流型観光の推進、地域の魅力発信等についての観点から伺います。

①本大会の出走者数と構成（市内・市外・県外・国外）について伺います。

②大会事務局からパンフレットやHPの中で市内にある宿泊施設や飲食店の紹介やイベント民泊の実施、観光交流・防災機能拠点施設も活用出来ないか伺います。

答 地域経済効果に繋がる仕掛けを検討する

■企画部長 知念 哲雄
①本大会は7千994人が出走し構成は市内が1千143人、市

外、県内が6千469人、県外が289人、国外から93人となっておりです。
②現在の東浜駐車場から大型駐車場に変えて市内での滞在時間を長くすることで地域の経済効果に結びつく仕掛けの展開ができないか検討します。

質 特色ある教育について

南城市が掲げる教育方針を推進しながら市内の4地域（佐敷・知念・大里・玉城）の様々な立地や歴史文化の環境の違う各小学校において、地域特性の特色ある教育の取り組みについて伺います。

答 4地域の特色を生かした教育について検討

■教育部長 當眞 隆夫
地域の特色を生かした特色ある教育活動を推進し、地域の活性化に繋げるように考えており、地域の人やもの、子どもの実態をもとに、特色ある教育活動の取り組みについて検討します。

教育委員会内に幼小中一貫教育検討委員会を設置し知念地域において平成30年度から取り組んでいく方向で検討を進めています。

答 総合計画の土地利用構想及び基本方針に基づき取り組み

■企画部長 知念 哲雄
公共交通網の再編、南部東道路の直接乗り入れと延伸、庁舎周辺からつきしろインター周辺の都市拠点整備により利便性の向上、就労や購買が可能となり市の東部地域の人口が増加すると考えている。総合計画に基づく取り組みとご理解願いたい。

質 道路があれば家が建つ

道路があれば家が建つ。人口の減少地域は袋地になっていて道路もないのが多い。農振の網がかぶっていて家が建てられない地域もある。地域バランスをとるためには法的緩和や的確な政策的誘導は必要。

答 袋地が多い。ミニ区画整理事業模索したい

■市長 古謝 景春
農業振興地域の中で土地改良をやつてないところで袋地が結構多い地域がある。それをミニ区画整理事業ができないものか、道路を通せないものか、農林省とも詰めている。新たな法律の観点になるうかと思うが大臣も含めいろんな形で話したい。



すが こうし
うえち 寿賀子

質 農業女子の育成、農業振興について

第1次産業の振興は地域の活力となり、今後も将来性の高い分野であります。本市においても、農業振興アクションプランを作成し農業の振興を推進しておりますが、更なる農業振興について。

①女性が働きやすい環境、農業女子育成として、農地へトイレ設置ができないか。
②棚田を活用した観光型農業について。
③バイオマスエネルギー調査や今後の展望について。

答 トイレ設置は重要課題。再生可能エネルギーも模索していく

■農林水産部長 屋我 弘明
①トイレ設置を協議し検討していく。
②意見交換をし、中長期計画で子ども達の体験学習もできるようにしていきたい。
③再生可能エネルギー活用は建設コストが課題、施設建設の高率補助事業を模索中。

質 公用車の活用について

新庁舎完成に伴い、2つの庁舎間の行き来が必要であった公用車の整理が必要であります。不用品になる公用車を自治会で活用できないかについて。

答 調査、検討を進めていく

■総務部長 玉城 勉
必要台数を見極め、段階的に整理・処分し検討していく。
■福祉部長 仲里 康治
必要性を理解する。公民館ミニデイ、公民館行事の送迎として公共的な使い方であれば問題ない。

質 子どもの居場所づくりについて

子どもは社会全体で育てるといふ助け合いも再認識されてきていますが、現状では利用しにくいという声があり、子ども達に等しく支援が行き届くために。
①受け入れ年齢の拡充について。
②事業成果について。
③今後の展開について。

答 運営者と協議しケースバイケースで対応していく

■福祉部長 仲里 康治
①未就学児の受け入れは可能でありケースバイケースで対応していく。
②子ども達の経験、実践等が家庭に好影響を与えていると考える。
③大里地区の実施に向け、場所選定を進めている。



しろま まつやす
城間 松安

質 尚巴志ハーフマラソンについて

県内外からのジョガーに親しまれているハーフマラソンでありますが、来年度は庁舎横に二千台収容の駐車場が完成する。以下について伺う。

①コースの変更はあるか。
②参加人数の推移
③参加者の内訳
④収支状況
⑤成果・課題

答 詳細は次の通り

■企画部長 知念 哲雄
①変更の予定はない。
②平成27年度は9千277人、平成28年度は9千484人、今年度は9千402人。
③市内1千240人、市外7千698人、県外464人。
④平成27年度は約400万円の黒字、平成28年度は約200万円の黒字
⑤成果は市のPRと経済効果。課題は市内での駐車場の確保。

質 大里もコースに入れて欲しいという要望があり、庁舎前に

スタートの変更が可能であれば、庁舎前から西原区まで約3キロありますのでコース設定できないか伺う。

答 企画部長 知念 哲雄

市としてはキャパをもう少し増やしたいという展開の中でコース設定が出来るのか検討させて頂きたい。

質 地域課題について

①旧県道77号線から下っていく途中の市道から右側への住宅街（仲間54番地、58番地、66番地）に降りる里道の入り口の手摺が劣化し大変危険である。改修できないか伺う。
②大里仲間のJA野菜出荷施設前から南小学校線との交差点までと、仲間1189番地前の道路に側溝がない整備できないか伺う。

答 詳細は次の通り

■土木建築部長 森山 紹司
①早急に対応する
②調査を行った結果側溝整備だけでは冠水の解消に繋がらないと判断し改善策について調査依頼している。結果を踏まえ対応する。
1189番地前の道路は農振がかぶつていて触れない。補助メニューがあれば整備していく。

質 市内中学校施設整備について

学校環境衛生の基準において、望ましい室内温度夏季25℃28℃と定める中、夏場教室の温度は、30度超えが常態化している。生徒の健康を害し学習意欲を減退させる要因だと考えるが、見解を伺う。

答 平成31年度設置調整

■教育部長 當眞 隆夫

小学校については、児童の体力面を考慮し、平成27年度クーラー設置完了。中学校については、設置済みが8教室。残り43教室が整備対象。

今年度熱中症で、保健室を利用した報告はない。

中学生議会や市PTA連合会から要請を受けており、喫緊な課題だと認識。費用については、1校設置費7千万程度。維持経費、学校規模によるが、1校概ね100万から150万程度年間かかる。快

質 放課後、児童の居場所・学童について

近年、子育て世代の親の共働きが当たり前になり児童の放課後の居場所が社会問題となっておりま

す。船小地域の学童が新年度に大幅な申込み増で入所できない児童が出てくる可能性あり、保護者が大変心配をしています。市の対応を伺います。

答 支障のないように対応していきたい

■福祉部長 仲里 康治

大きく入所できない方がいた場合、南城市学童保育連絡協議会とも十分議論しながら、船越・愛地域で新たに公設民営というのは厳しい状況ですが、民設で新たにできないか、連絡協議会に呼びかけをしながら協力を求めている。次年度この学童クラブへの入所を希望する方については支障がないよう福祉部として緊急に対処していきたいと考えています。



ちねん 知念 としや 俊也



たまき 玉城 つよし 健

質 久手堅船溜りの利用状況について

旧知念村で採択され紆余曲折を重ねながら事業費3億4千440万2千650円で完成した久手堅船溜りの利用状況と今後の利用計画を伺います。

答 大きな実績なし

■農林水産部長 屋我 弘明

船溜まりの目的は南城市の新たな観光需要である体験型観光、海洋レジャー関連を展開する計画として観光協会による、うみんちゅ体験やイノー観察体験等計画していましたが、船主会に確認したところ遊漁船の活動実績は記録されておりません。

■副市長 具志堅兼栄

この船溜りは漁港ではなく遊漁船が活用できる船溜りとして計画申請をしています。船主会は日常的に使う漁港との認識で遊漁船も活用するという部分で大きく乖離があったわけです。利用回数も含め大きな実績としてはまだ出ていませんが周辺に将来的にホテルが誘致される情報もあり港が十分活用できるように検討していきたい。

質 公園維持管理について

維持管理たびたび指摘を受ける中、管理体制見直しや検討が必要だと思いが見解を伺う。

答 強化する

■土木建築部長 森山 紹司

公園利用者が安心・安全で快適に利用できるよう、委託業者と連携し、定期パトロール等、管理体制強化を図る。

質 スポーツ振興について

競技力向上、スポーツ普及など取組みを伺う。

答 強化取組んでいく

■教育部長 當眞 隆夫

スポーツ施設整備やプロチームとの体験交流、大会派遣補助など実施。

優秀選手の広報や、各種イベント会場として積極的に受け入れスポーツ普及活動取組んでいく。

質 雄樋川の氾濫対策について

集中豪雨時に船越橋の上流側が氾濫し、過去にも床下浸水の被害が発生している。以下の点について伺う

①雄樋川の管理者について

②雄樋川の改修の予定について

③船越橋上流側の樹木の除去作業は進んでいるが、下流側の除去作業の予定について

答 樹木の除去作業を予定

■農林水産部長 屋我 弘明

①大城ダムから県道17号線までは農業用排水路として南城市が管理、県道17号線より下流側は沖縄県が管理している

②沖縄県が再調査し、平成31年度までの事業化を目指す

③除去作業を平成30年度に実施予定



くによし 國吉 あきら 明

質 新原海岸の堆砂対策について

台風時には住民による砂の除去作業を繰り返し行っている。以下の点について伺う

①海岸の管理者について

②護岸の機能回復方法について

③集落内の堆砂除去作業の補助に

答 地域と連携を図り対応していきたい

■土木建築部長 森山 紹司

①沖縄県が管理者である

②沖縄県と調整を図り、効果的な機能回復を要請していく

③堆砂除去作業の補助は考えていないが、地域と連携を図りながら対応していきたい

質 水溶性天然ガスの利活用について

①昨年3月以降の取り組み状況と課題について伺う。

②大型MICE施設と連動した利活用の検討が可能か伺う。

答 広域的な取り組みができないか検討

■企画部長 知念 哲雄

①八重瀬町と連携して、ホテルや老健施設、ゴルフ場への温泉宅配や施設栽培農業への具体的な利活用に関する調査を実施してきたが、かん水の排水処理の問題や事業展開における費用負担の課題があり今すぐ事業化というのには厳しい状況である。

②総合事務局が中心となって、水溶性天然ガスのMICE関連施設等への利活用に向けた研究会が立ち上がっており、その方向性を確認しつつ、西原町の取り



あだにや 安谷屋 ただし 正

質 「ヤブカラシ」対策について

①近年南城市一円で蔓延し、農家の皆様が対策に苦慮しているヤブカラシについて、市として何らかの対応を検討したことがあるのか伺う。

②除草対策にかかる農業への補助が検討できないか伺う。

答 厳しい

■農林水産部長 屋我 弘明

①沖縄県農林水産部よりヤブカラシ類の防除マニュアルが公表されており、市独自での対応は検討していない。

②現在補助は行っており、近隣の市町村も確認したが補助を行っている自治体はなかった。

質 安全対策について

船越小学校向かい、屋良アパートにつながる道は歩道もなく、カーブのため接触が心配される。以下について伺う

①スクールゾーンの設置ができないか

②車と歩行者を分ける白線を引くことができないか

③夜間の安全性確保のため、防犯灯の設置ができないか

④ハンブの設置ができないか

答 関連部署と調整していく

■市民部長 城間 みゆき

①スクールゾーン設置と白線引きのどちらが有効か、区長や地域住民の意見等も勘案し関連部署と調整していく

②各区自治会が主体となって設置し、市は設置費用を補助している

③土木建築部長 森山 紹司

④地域の理解と同意を得る必要がある、要請があれば検討していきたい

質 放課後、児童の居場所・学童について

近年、子育て世代の親の共働きが当たり前になり児童の放課後の居場所が社会問題となっておりま

す。船小地域の学童が新年度に大幅な申込み増で入所できない児童が出てくる可能性あり、保護者が大変心配をしています。市の対応を伺います。

答 支障のないように対応していきたい

■福祉部長 仲里 康治

大きく入所できない方がいた場合、南城市学童保育連絡協議会とも十分議論しながら、船越・愛地域で新たに公設民営というのは厳しい状況ですが、民設で新たにできないか、連絡協議会に呼びかけをしながら協力を求めている。次年度この学童クラブへの入所を希望する方については支障がないよう福祉部として緊急に対処していきたいと考えています。

質 久手堅船溜りの利用状況について

旧知念村で採択され紆余曲折を重ねながら事業費3億4千440万2千650円で完成した久手堅船溜りの利用状況と今後の利用計画を伺います。

答 大きな実績なし

■農林水産部長 屋我 弘明

船溜まりの目的は南城市の新たな観光需要である体験型観光、海洋レジャー関連を展開する計画として観光協会による、うみんちゅ体験やイノー観察体験等計画していましたが、船主会に確認したところ遊漁船の活動実績は記録されておりません。

■副市長 具志堅兼栄

この船溜りは漁港ではなく遊漁船が活用できる船溜りとして計画申請をしています。船主会は日常的に使う漁港との認識で遊漁船も活用するという部分で大きく乖離があったわけです。利用回数も含め大きな実績としてはまだ出ていませんが周辺に将来的にホテルが誘致される情報もあり港が十分活用できるように検討していきたい。

質 雄樋川の氾濫対策について

集中豪雨時に船越橋の上流側が氾濫し、過去にも床下浸水の被害が発生している。以下の点について伺う

①雄樋川の管理者について

②雄樋川の改修の予定について

③船越橋上流側の樹木の除去作業は進んでいるが、下流側の除去作業の予定について

答 樹木の除去作業を予定

■農林水産部長 屋我 弘明

①大城ダムから県道17号線までは農業用排水路として南城市が管理、県道17号線より下流側は沖縄県が管理している

②沖縄県が再調査し、平成31年度までの事業化を目指す

③除去作業を平成30年度に実施予定

質 水溶性天然ガスの利活用について

①昨年3月以降の取り組み状況と課題について伺う。

②大型MICE施設と連動した利活用の検討が可能か伺う。

答 広域的な取り組みができないか検討

■企画部長 知念 哲雄

①八重瀬町と連携して、ホテルや老健施設、ゴルフ場への温泉宅配や施設栽培農業への具体的な利活用に関する調査を実施してきたが、かん水の排水処理の問題や事業展開における費用負担の課題があり今すぐ事業化というのには厳しい状況である。

②総合事務局が中心となって、水溶性天然ガスのMICE関連施設等への利活用に向けた研究会が立ち上がっており、その方向性を確認しつつ、西原町の取り

質 雄樋川の氾濫対策について

集中豪雨時に船越橋の上流側が氾濫し、過去にも床下浸水の被害が発生している。以下の点について伺う

①雄樋川の管理者について

②雄樋川の改修の予定について

③船越橋上流側の樹木の除去作業は進んでいるが、下流側の除去作業の予定について

答 樹木の除去作業を予定

■農林水産部長 屋我 弘明

①大城ダムから県道17号線までは農業用排水路として南城市が管理、県道17号線より下流側は沖縄県が管理している

②沖縄県が再調査し、平成31年度までの事業化を目指す

③除去作業を平成30年度に実施予定

質 水溶性天然ガスの利活用について

①昨年3月以降の取り組み状況と課題について伺う。

②大型MICE施設と連動した利活用の検討が可能か伺う。

答 広域的な取り組みができないか検討

■企画部長 知念 哲雄

①八重瀬町と連携して、ホテルや老健施設、ゴルフ場への温泉宅配や施設栽培農業への具体的な利活用に関する調査を実施してきたが、かん水の排水処理の問題や事業展開における費用負担の課題があり今すぐ事業化というのには厳しい状況である。

②総合事務局が中心となって、水溶性天然ガスのMICE関連施設等への利活用に向けた研究会が立ち上がっており、その方向性を確認しつつ、西原町の取り

質 「ヤブカラシ」対策について

①近年南城市一円で蔓延し、農家の皆様が対策に苦慮しているヤブカラシについて、市として何らかの対応を検討したことがあるのか伺う。

②除草対策にかかる農業への補助が検討できないか伺う。

答 厳しい

■農林水産部長 屋我 弘明

①沖縄県農林水産部よりヤブカラシ類の防除マニュアルが公表されており、市独自での対応は検討していない。

②現在補助は行っており、近隣の市町村も確認したが補助を行っている自治体はなかった。

質 安全対策について

船越小学校向かい、屋良アパートにつながる道は歩道もなく、カーブのため接触が心配される。以下について伺う

①スクールゾーンの設置ができないか

②車と歩行者を分ける白線を引くことができないか

③夜間の安全性確保のため、防犯灯の設置ができないか

④ハンブの設置ができないか

答 関連部署と調整していく

■市民部長 城間 みゆき

①スクールゾーン設置と白線引きのどちらが有効か、区長や地域住民の意見等も勘案し関連部署と調整していく

②各区自治会が主体となって設置し、市は設置費用を補助している

③土木建築部長 森山 紹司

④地域の理解と同意を得る必要がある、要請があれば検討していきたい

発委第11号・12号 米軍普天間飛行場所属CH-53Eヘリコプターからの部品落下事故に対する意見書・抗議決議

- 1、被害を受けた児童や保護者、学校関係者に謝罪すること。
- 2、事故原因を徹底究明し、速やかに公表するとともに、公表されるまでの間の飛行を停止すること。
- 3、実効性ある再発防止策を講じ、実施状況を明らかにすること。
- 4、普天間基地の1日も早い閉鎖返還と5年以内の運用停止を実現すること。
- 5、日米地位協定を抜本的に改定すること。

あて先
意見書：内閣総理大臣、防衛大臣、外務大臣、沖縄及び北方対策担当大臣、沖縄基地負担軽減担当、外務省沖縄担当大使、沖縄防衛局長
抗議決議：駐日米国大使、第三海兵遠征軍司令官・沖縄地域調整官、在沖米国総領事

発委第13号 学習支援員及び特別支援教育支援員配置に関する補助金創設の意見書

- 1、小・中学校等における発達障害のある幼児児童生徒に対する指導充実のための教職員配置の充実を図るとともに、特別支援教育支援員の配置について、国庫補助による予算措置を行うこと。
- 2、不登校児童生徒対策のため、教職員配置の充実を図るとともに、適応指導教室への人的・財政的支援を行うこと。

あて先 内閣総理大臣、衆議院議長、参議院議長、文部科学大臣

発委第14号 こどもの医療費助成制度改善を求める意見書

- ①国の制度として、中学校卒業まで、一部負担なし、所得制限なし、現物給付でこども医療費無料制度の創設を行うこと
- ②少子化対策に逆行する「こども医療費助成」に対する国保の補助金減額という罰則」を全部廃止すること

あて先 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、厚生労働大臣

発委第15号 現物給付の導入と対象年齢拡大など、こどもの医療費助成制度改善を求める意見書

- ①国に対して、こども医療費無料制度の創設を求めること
- ②H25年県議会決議の精神にしたがい、国の制度化ができるまで、沖縄県において、こども医療費助成制度の改善にとりくみ、「中学校卒業まで」「所得制限なし」「現物給付」での完全無料化を通院でも実現すること

あて先 沖縄県知事

発委第16号 介護の現場と県民の生活を守るために介護保険制度の改善、介護従事者の処遇改善をすすめ、国の責任で介護報酬など財源の確保を求める意見書

- ①生活援助をはじめ、介護サービスの削減や利用者負担の引き上げを実施しないこと
- ②新総合事業（市町村事業）の予算上限を撤廃し、介護の質を守り、必要な介護をどの市町村でも提供できるよう制度を見直すこと
- ③介護従事者の処遇を改善し、事業所の経営収支の悪化を食い止めること
- ④以上を実現するために政府の責任で、介護報酬などで必要な財源を確保すること

あて先 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、厚生労働大臣

※誌面の都合により、要請事項のみを掲載しております。

採択

陳情第22号 市内中学校普通教室におけるクーラー設置の要請について

市内、すべての小学校にはクーラーが設置され、快適に授業をする環境が整っていますが、中学校は現在も扇風機により暑さを凌ぎながら授業を行っている状況が続いています。

現状の環境の中では集中力、体力にも限界があるとのことで、平成29年11月9日、南城市PTA連合会会長より市内4校の中学校校長、各PTA会長連名で普通教室へのクーラー設置の要請が出されました。

審議の結果、南城市の将来を担う子どもたちの快適な学習環境を確保するため、全会一致で採択されました。



全会一致で採択

陳情第22号 船越小学校区における新たな公設学童保育および学童保育開設への支援を求める陳情書について

平成29年度に新たに開所した公設民営の船越学童保護者が実施したアンケートにより、次年度は定員43名を大幅に超える見込みである事から提出されました。

船越地域には児童館や図書館もなく、学童保育所が他にないことなど、放課後の子ども達の居場所が少ない事が今回の陳情になりました。

新年度に間に合う取組みが確実になされるように、担当課と保護者や関係者間での話し合いを早めに行い、互いに協力しながら進めるよう委員会としても提案し、今後の経緯を注視していきます。





島尻消防、清掃組合

組合議員：前里 輝明 知念 俊也 安谷屋 正 比嘉 直明

- ◆平成29年1月6日（金） 島尻消防出初式
- ◆平成29年2月24日（水） 2月定例会

主な付議事件	議決結果
・平成28年度島尻消防、清掃組合一般会計補正予算（第3号）について ・平成29年度島尻消防、清掃組合一般会計歳入歳出予算について	可 決 可 決

一般質問

質問者	質問事項	質問者	質問事項
本村 繁（八重瀬町） 照屋 直（八重瀬町）	災害予防対策について ペットボトルキャップの回収についてなど	前里 輝明（南城市） 知念 俊也（南城市）	災害時の市町間連携について 島尻消防フェスタについて

- ◆平成29年7月10日（月） 島尻消防署 佐敷出張所落成式
- ◆平成29年11月27日（月） 10月定例会

主な付議事件	議決結果
・専決処分 平成28年度島尻消防、清掃組合一般会計補正予算（第4号）の承認を求めることについて ・平成28年度島尻消防、清掃組合繰越明許費計算書の報告について ・平成28年度島尻消防、清掃組合一般会計決算認定について ・平成29年度島尻消防、清掃組合一般会計補正予算（第1号）について ・島尻消防、清掃組合職員定数条例の一部を改正する条例について	承 認 報 告 認 定 可 決 可 決

一般質問

質問者	質問事項	質問者	質問事項
本村 繁（八重瀬町） 照屋 直（八重瀬町） 神谷良仁（八重瀬町）	旧佐敷消防署跡地利用について 避難訓練について 「防災士」について 放射性災害に対応可能な防護服の備えについて 個人情報、あるいは職場内情報の漏えい対策について	前里 輝明（南城市） 安谷屋 正（南城市）	救急・災害時における外国人対応について 消防職員の定数について 防災訓練について

沖縄県介護保険広域連合

連合議員：上地 寿賀子

- ◆平成29年2月24日（金） 第46回定例議会
- ◆平成29年8月23日（水） 第47回定例議会

主な付議事件	議決結果
・平成29年度当初予算 一般会計9億8,895万9千円、特別会計327億5,305万8千円	可 決
・平成29年度補正予算 西原町加入に伴い、西原町特別会計余剰金5,830万1千円、西原町介護給付費準備基金5,223万4千円を補正歳入とする。	可 決
・平成28年度決算 両会計とも不用額の増で執行率の低下となっており、予算の執行にあたっては努力した跡が伺え、不用額増の要因としては介護給付費の減により介護予防事業の効果が現れてきているのではないかと分析と検証中。いっぽう財源の確保として特別会計の不納欠損額が1億2,318万3,575円（1万8,878件）にのぼり、引き続き介護保険料徴収の強化に努める。 今後の課題のひとつとして「認知症初期集中支援推進事業」「認知症地域支援・ケア向上推進事業」のチームや推進員の配置を平成30年度全構成市町村の完全実施に向けていく。	認 定

滞納繰越分保険料収納状況（平成28年度）

単位：円

南城市	繰越調停額	収納額	割合	不納欠損額	割合	未収入額	割合
	33,688,574	4,978,339	14.8%	11,239,879	33.4%	17,470,356	51.9%

人口と高齢化の状況（平成28年度末）

単位：人

南城市	総人口	高齢者数			高齢化率		
		総数	前期	後期	総高齢化比率	前期高齢化率	後期高齢化率
	43,363	9,993	4,867	5,126	23.0%	11.2%	11.8%
広域連合(28市町村)	396,802	81,761	40,193	41,568	20.6%	10.1%	10.5%



一部事務組合議会報告

東部清掃施設組合

組合議員：伊禮 清則 平田 安則

- ◆平成29年2月16日（木） 第1回定例会
平成29年度東部清掃施設組合一般会計予算ほか議案2件が審議され、全会一致で可決されました。
他、平成29年度～33年度の財政計画及び年末年始の緊急のごみ処理依頼についての説明がありました。
- ◆平成29年6月5日（月） 第2回臨時会
与那原町議会改選による議長選挙及び基幹的設備改造工事請負契約、一般会計補正予算（第1号）の議案が審議され、全会一致で可決されました。
- ◆平成29年8月31日（木） 全員協議会（組合議長の発意）
組織統合に向けた法定上の協議等について意見交換
- ◆平成29年10月31日（火） 第3回定例会
平成28年度東部清掃施設組合一般会計決算の認定、平成29年度一般会計補正予算（第2号）の議案が審議され、全会一致で可決されました。

東部清掃施設組合のごみ焼却の現状について概略説明します。

南城市ごみ処理の現状は、可燃ごみは平成26年度より東部清掃施設組合で焼却、不燃ごみ・粗大ごみは島尻消防、清掃組合で分別処理し、可燃物は東部清掃施設組合で焼却処理しています。

焼却後に残る破碎残渣は、沖縄市の倉浜衛生施設組合とうるま市の（株）久和創建の最終処分場で埋立処理されています。

平成28年の南城市の燃えるごみは9,544 tと、不燃物から分別された可燃物216 tで、破碎残渣は倉浜清掃施設組合に2,418 t、（株）久和創建に1,739 t最終処分されました。

東部清掃施設組合の現在の焼却炉は、1日（24 h）の処理能力98 tに対し、実際の処理量約92 t（94％）です。又、年間の計画稼働率約77％に対し、実際は約94％と約17％のオーバーワーク状態であります。（365日の内、280日稼働し残り85日は点検・修繕に充てる計画だが、実際稼働は343日で点検・修繕に充てる日は22日しかない）

更に、平成28年度は老朽化による修繕等や能力オーバーにより、那覇市・南風原町環境施設組合、浦添クリーンセンター、糸満市・豊見城市清掃施設組合に7日分・303 t、今年度は期間設備改造工事の為、6月から11月末にかけて糸満市・豊見城市清掃施設組合、浦添クリーンセンターに約3,200 tの処理を依頼している状況です。

平成39年度一元化ごみ処理施設の供用開始までの耐久性向上の為、平成29年100,764千円、平成30年155,833千円、平成31年263,318千円、平成32年263,318千円の計783,233千円をかけ基幹改修工事等を行う計画です。

平成28年度決算による南城市の組合への負担額は103,376千円で、東部清掃施設組合総予算の17.2％を占めています。

沖縄県後期高齢者医療広域連合

連合議員：新里 嘉

- ◆平成29年2月10日（金） 第1回定例会 承認2件 議案6件

主な付議事件	議決結果
・訴えの提起について【診療報酬を不正に請求したものに対し、法律に基づく診療報酬返還等請求及び民法に基づく損害賠償請求の訴えを提起するもの】	原案可決
・平成28年度特別会計補正予算について	原案可決
・平成29年度一般会計予算について 歳入歳出それぞれ2億5,401万円とする。	原案可決
・平成29年度特別会計予算について 歳入歳出それぞれ1,417億7,995万5千円とする。（前年比約3％増）	原案可決
※今定例会においては、【訪問指導事業】についての一般質問も行っています。	

- ◆平成29年8月18日（金） 第2回定例会 承認1件 認定2件 議案2件

主な付議事件	議決結果
・平成29年度一般会計補正予算について 歳入歳出それぞれ2,186万6千円を追加する	原案可決
・平成29年度特別会計補正予算について 歳入歳出それぞれ56億5,406万円を追加する	原案可決

※平成28年度一般会計の収入済額と決算済額との比 21,866,919円

※平成28年度特別会計の収入済額と決算済額との比 5,630,535,616円

※南城市の平成28年度保険料収納率 99.48％ 毎年収納率は良くなっている

※平成28年度、南城市は後期高齢者はり・きゅう・あん摩等施術助成を活用し20万6,370円の補助金が支給される。

※県内の被保険者数が年間3千人規模で増加、2016年度の対象者は13万9,342人、医療費総額は、約1,414億円でありました。

第2次南城市総合計画調査特別委員会

平成29年第5回定例会において、第2次南城市総合計画調査特別委員会の設置が議決され、平成29年12月19日に第1回委員会が開かれました。

第1次南城市総合計画の計画期間が平成29年度までとなっており、今後10年間の目指すべき目標やその実現に向けた主要施策や事業などを示した第2次南城市総合計画が策定されます。

総合計画は南城市の長期的・総合的な展望に立った市政運営の基本構想であり、市のあらゆる計画の最上位に位置する計画となるため、今後も特別委員会を重ね、総合計画策定の調査研究を行っていきます。

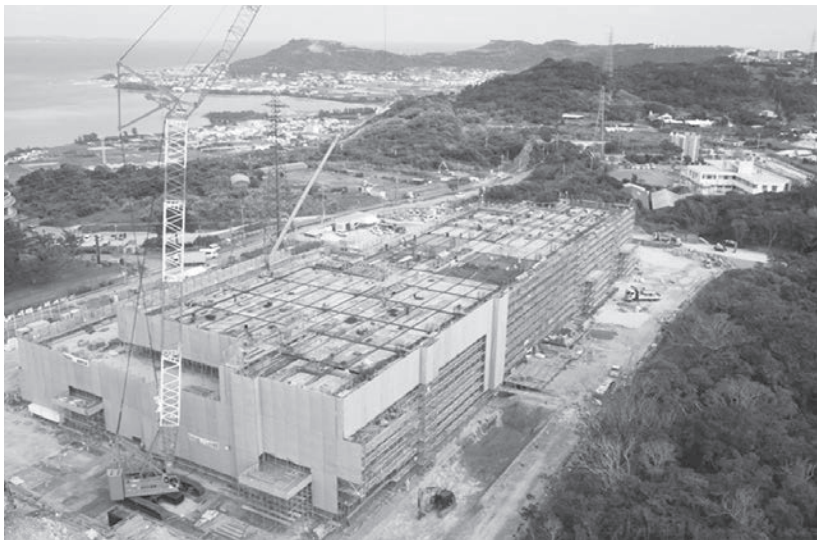


庁舎建設特別委員会

平成29年12月19日、庁舎建設の進捗状況を確認するため、現場視察を行い、その後、担当部局より説明を受けました。

レストラン・カフェスペースの入居については、南城市母子寡婦福祉会より辞退の申し出があり、新たにプロポーザルを実施し、（同）琉球漢方が優先交渉者となり、今後契約交渉を進めていくとありました。

新庁舎の供用開始時期について、建築工事排水処理の完了、開発行為の工事完了検査、消防の完了検査が終了した後、ネットワーク関連工事や庁舎外構工事の完了を予定している5月28日の予定であると報告がありました。



南部広域市町村圏事務組合

組合議員：玉城 健 仲間 光枝

◆平成29年2月27日（月）定例会

主な付議事件	議決結果
・平成28年度ふるさと市町村圏基金特別会計予算について ふるさと市町村圏基金特別会計とは、関係市町村の出資金9億円と沖縄県の補助金1億円、合計10億円から得られる運用益を活用して実施する事業の特別会計	可 決
・平成29年度南斎場特別会計予算について 歳入歳出：2億8,707万5千円	可 決
・平成29年度南部広域市町村圏事務組合一般会計予算についての修正動議 下記議題の撤回により、情報公開・個人情報保護運営審議会委員、審査会委員の報酬及び旅費（費用弁償）として計上された合計12万9千円を予備費へ移し、予備費を22万9千円に修正する	可 決

下記4つの議案について、説明不足を理由に審議できない旨の意見があり、休憩時の協議により、取り下げとすることに決定。
南部広域市町村圏事務組合情報公開条例制定について
南部広域市町村圏事務組合個人情報保護条例制定について
南部広域市町村圏事務組合附属機関の設置に関する条例制定について
南部広域市町村圏事務組合報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定について

◆平成29年10月31日（火）定例会

主な付議事件	議決結果
・新議長・副議長選挙 議 長 翁長俊英/那覇市 副議長 下地秀男/浦添市	
・平成28年度一般会計歳入歳出決算認定について 歳入8,431万1,745円、歳出8,356万2,106円 差引き74万9,639円	認 定
・平成28年度ふるさと市町村圏基金特別会計決算認定について 歳入1,177万7,700円、歳出1,127万2,003円 差引き 50万5,697円	認 定
・平成28年度いなんせ斎苑特別会計決算認定について 歳入2億744万8,960円、歳出1億7,866万5,232円、差引き2,878万3,728円	認 定
・平成29年度補正予算について	可 決

前回2月議会において提案された「情報公開条例」「個人情報保護条例」の2つの条例制定は、事前の説明不足を理由に会議が紛糾し、理事会理事長により議案撤回される。

今回は、事前に送られていた資料の確認をしながら、その後の経緯説明を受け、引き続き条例制定に向け取り組んでいく事を確認。

今回の反省により、今後の議会の進め方について議員間協議し、会議規則に則る事の確認。また、特に重要なものについては、会議前に事前説明会をもつ事の確認をした。

議会活動・委員会活動

総務福祉委員会

閉会中の継続調査

- 調査事件
- ①財政課題について
 - ②今後の子育て政策について
 - ③自然災害について
 - ④今後の観光振興について

産業教育委員会

閉会中の継続調査

- 調査事件
- ①財政課題について
 - ②自然災害について
 - ③道路整備について

平成29年12月定例会 議員別出欠結果一覧表

○：出席 △：途中出席 ▲：途中退席 ×：欠席 除：除斥			12月										
			1日	6日	7日	8日	11日	12日		13日	14日	18日	21日
			本会議 ①	本会議 ②	本会議 ③	本会議 ④	本会議 ⑤	本会議 ⑥	常任委員会 ①	常任委員会 ②	常任委員会 ③	常任委員会 ④	本会議 ⑦
議長	大 城 悟	○	○	○	○	○	○	委員会に所属していない為					○
総務福祉委員会	吉 田 潤	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	国 吉 昌 実	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	上 地 寿賀子	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	知 念 俊 也	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	仲 間 光 枝	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	伊 禮 清 則	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	比 嘉 直 明	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	松 田 兼 弘	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
産業教育委員会	前 里 輝 明	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	城 間 松 安	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平 田 安 則	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	新 里 嘉	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	安谷屋 正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	國 吉 明	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	中 村 直 哉	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	玉 城 健	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	親 川 孝 雄	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○
	照喜名 智	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

表紙写真募集



◇市内の風景や自然、おすすめのスポットなど、南城市の魅力をアピールできる写真を募集します。
皆様の自慢の写真をお待ちしています。

- ★応募作品は返却しないものとします。
- ★応募作品は未発表のものに限り、他のコンテスト等と二重応募は不可とします。
- ★応募者ご本人で撮影したもので、一切加工を施していないものに限ります。
- ★応募作品の所有権、複製等全ての著作権は南城市議会事務局に帰属するとともに、南城市議会事務局が行う全ての活動で利用できるものとします。
- ★人物が写り肖像権が発生した場合、南城市議会事務局ではその責任を負いかねます。
(人物が撮影されている場合は、応募者が責任をもって被写体ご本人に確認を行い、肖像権について承諾を得てください。)

応募作品は、左記アドレスへ送信又は事務局へご持参ください。
メール本文に住所、氏名、電話番号、タイトル又は撮影場所、撮影年月日をご記入の上、送信してください。
記載された個人情報、応募作品に関する問い合わせ等、必要な範囲内で使用します。

宛先・問合せ先

南城市議会事務局

E-mail: gikai@city.nanjo.okinawa.jp

TEL：098-948-7797

FAX：098-852-6625

編集後記



平成30年初の議会だよりも無事発行できました。ところで、この「平成」という元号とも来年4月でお別れする事になりますが、平成という時代は皆様にとってどんな時代だったでしょうか。
平成元年生まれが成人したときには時の速さを感じたものですが、日本人はこの元号と共に時代を記憶するので、平成の終わりは誰にとっても一つの大きな節目となるでしょう。
連続した時の流れの中で、区切りをつけて考えるのは私達人間の智慧だと思いませんか？
悲しみや苦しみから立ち直る時も、慢心さから目を覚ます時も、人生の方向転換する時も、気持ちの上で区切りをつける事で次へ進む事ができます。
平成がどんな時代であったとしても、新しい時代はまさに今からここからです。
平成最後の一年、市民皆様の健康とご多幸を広報委員を代表しお祈り申し上げます。

議会広報委員 仲間 光枝